



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月8日

上場取引所 福

上場会社名 株式会社 筑邦銀行
コード番号 8398 URL <http://www.chikugin.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役頭取
問合せ先責任者 (役職名) 取締役総合企画部長
四半期報告書提出予定日 平成28年8月12日

(氏名) 佐藤 清一郎
(氏名) 執行 謙二
特定取引勘定設置の有無 無

TEL 0942-32-5353

配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(単位未満は切捨てて表示)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	4,871	△3.4	711	△44.3	368	△53.2
28年3月期第1四半期	5,045	2.7	1,277	34.1	788	32.8

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 △50百万円 (—%) 28年3月期第1四半期 43百万円 (△96.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	5.96	5.89
28年3月期第1四半期	12.77	12.65

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	768,646	40,621	5.0
28年3月期	755,428	40,829	5.1

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 38,485百万円 28年3月期 38,714百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末新株予約権－期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	2.50	—	2.50	5.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	2.50	—	2.50	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,820	△4.2	790	△50.1	500	△52.6	8.08
通期	17,490	△5.5	1,570	△45.0	970	△48.7	15.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期1Q	62,490,200 株	28年3月期	62,490,200 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

29年3月期1Q	666,359 株	28年3月期	664,041 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期1Q	61,825,378 株	28年3月期1Q	61,734,431 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P.2「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

【添付資料】

目 次

	頁
1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 継続企業の前提に関する注記	6
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	6
4. 補足情報	7
平成29年3月期 第1四半期決算説明資料	7
(1) 平成29年3月期 第1四半期損益状況(単体)	7
(2) 金融再生法ベースの категорияによる開示	8
(3) 時価のあるその他有価証券の評価差額(連結)	9
(4) 預金・貸出金の残高(単体)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、個人消費の停滞感など一部に弱い動きがみられたものの、政府の経済対策などから企業収益や雇用情勢が改善するなど、全体としては緩やかな回復の動きが続きました。一方、世界経済の下振れ懸念など海外景気は不透明な状況が続きました。

金融情勢につきましては、日本銀行の「マイナス金利付き量的・質的金融緩和」による低金利環境が継続するなか、英国のEU離脱問題などから世界的なリスクオフの傾向となり、長期金利の低下、円高、株安の動きとなりました。当第1四半期連結会計期間末には、長期金利の指標である新発10年物国債利回りはマイナス0.2%台、ドル円相場は102円台、日経平均株価は15,000円台となりました。

以上のような金融経済環境のもと、当行グループは、業績の向上、経営の効率化に努めました結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は以下のとおりとなりました。

経常収益は、有価証券利息の増加により資金運用収益が増加しましたが、有価証券の売却益などが減少したことなどから、前年同四半期連結累計期間比1億74百万円減収の48億71百万円となりました。また、経常費用は、不良債権の処理費用が増加したことなどから、前年同四半期連結累計期間比3億92百万円増加の41億60百万円となりました。この結果、経常利益は、前年同四半期連結累計期間比5億66百万円減益の7億11百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、経常利益が減益となったことなどから、前年同四半期連結累計期間比4億20百万円減益の3億68百万円となりました。なお、四半期包括利益は、その他有価証券の評価益が減少したことなどから、前年同四半期連結累計期間比93百万円減少の50百万円の損失となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

主要勘定の当第1四半期連結会計期間末の残高は、預金等(譲渡性預金を含む)は、資金調達のコアとなる個人預金が引き続き増加したことに加えて公金預金も増加したことから、前連結会計年度末比212億円増加の6,788億円となりました。貸出金は、地元の中小・中堅企業や個人事業主を中心とした取引の拡大や、住宅ローンをはじめとした個人のお客さまの資金ニーズにお応えするなど積極的な営業活動に努めましたが、中小企業等向けなどの貸出金が減少したことなどから、前連結会計年度末比136億円減少の4,277億円となりました。有価証券は、マイナス金利となっている投資環境のなか、新発債等の購入や償還を迎えた債券の再投資に対し慎重に取り組んだことから、前連結会計年度末比69億円減少の2,464億円となりました。また、純資産は、その他有価証券評価差額金が減少したことなどから、前連結会計年度末比2億円減少の406億円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成29年3月期の業績予想につきましては、今後の金融経済情勢等により大きく変動する可能性はありますが、平成28年5月13日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(追加情報)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
現金預け金	29,425	61,945
買入金銭債権	408	418
商品有価証券	224	224
有価証券	253,339	246,413
貸出金	441,351	427,700
外国為替	1,605	2,170
リース債権及びリース投資資産	9,032	8,881
その他資産	3,561	4,268
有形固定資産	9,776	9,961
無形固定資産	134	127
退職給付に係る資産	341	346
繰延税金資産	67	64
支払承諾見返	8,472	8,394
貸倒引当金	△2,312	△2,271
資産の部合計	755,428	768,646
負債の部		
預金	644,198	669,104
譲渡性預金	13,430	9,767
コールマネー及び売渡手形	10,000	-
借入金	30,531	33,426
その他負債	3,436	2,896
退職給付に係る負債	1,483	1,488
役員退職慰労引当金	61	54
偶発損失引当金	130	138
繰延税金負債	1,660	1,558
再評価に係る繰延税金負債	1,195	1,195
支払承諾	8,472	8,394
負債の部合計	714,599	728,025
純資産の部		
資本金	8,000	8,000
資本剰余金	5,779	5,779
利益剰余金	16,002	16,216
自己株式	△178	△179
株主資本合計	29,603	29,816
その他有価証券評価差額金	6,851	6,412
土地再評価差額金	2,288	2,288
退職給付に係る調整累計額	△28	△32
その他の包括利益累計額合計	9,110	8,668
新株予約権	145	145
非支配株主持分	1,969	1,990
純資産の部合計	40,829	40,621
負債及び純資産の部合計	755,428	768,646

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
経常収益	5,045	4,871
資金運用収益	2,477	2,678
(うち貸出金利息)	1,745	1,698
(うち有価証券利息配当金)	630	890
役務取引等収益	453	431
その他業務収益	1,423	1,471
その他経常収益	691	289
経常費用	3,768	4,160
資金調達費用	117	79
(うち預金利息)	96	65
役務取引等費用	188	223
その他業務費用	1,174	1,125
営業経費	2,256	2,233
その他経常費用	32	498
経常利益	1,277	711
特別損失	0	0
固定資産処分損	0	0
税金等調整前四半期純利益	1,277	710
法人税、住民税及び事業税	296	234
法人税等調整額	156	78
法人税等合計	453	312
四半期純利益	824	397
非支配株主に帰属する四半期純利益	35	29
親会社株主に帰属する四半期純利益	788	368

四半期連結包括利益計算書

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	824	397
その他の包括利益	△781	△448
その他有価証券評価差額金	△770	△444
退職給付に係る調整額	△10	△3
四半期包括利益	43	△50
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6	△73
非支配株主に係る四半期包括利益	36	22

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

平成29年3月期 第1四半期決算説明資料

(1) 平成29年3月期 第1四半期損益状況(単体)

	29年3月期 第1四半期 (3ヶ月間)		28年3月期 第1四半期 (3ヶ月間)	29年3月期 第2四半期累計 期間の業績予想	28年3月期 通期実績 (12ヶ月間)
		増減			
業務粗利益	3,014	277	2,737		10,296
(除く国債等債券損益)	(2,721)	(183)	(2,538)		(9,640)
うち資金利益	2,540	242	2,298		8,755
うち役務取引等利益	174	△57	231		862
経費(除く臨時処理分)	2,165	△33	2,198		8,590
うち人件費	1,157	△72	1,229		4,675
うち物件費	846	△2	848		3,427
実質業務純益	848	309	539	850	1,706
コア業務純益	555	215	340	460	1,049
一般貸倒引当金繰入額	27	27	—	0	—
業務純益	821	282	539	850	1,706
うち国債等債券損益	293	94	199		656
臨時損益	△180	△836	656		782
うち不良債権処理額	293	306	△13	320	10
うち貸倒引当金戻入益	—	△147	147	—	248
(与信関係費用)	320	480	△160	320	△237
うち株式等関係損益	119	△348	467		648
経常利益	640	△555	1,195	700	2,488
特別損益	△0	0	△0		△25
四半期(当期)純利益	350	△419	769	470	1,784

注1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 与信関係費用＝一般貸倒引当金繰入額＋不良債権処理額－貸倒引当金戻入益－償却債権取立益

実質業務純益 8億48百万円

実質業務純益は、役務取引等利益が減少したものの、資金利益が増加したことなどから、前年同四半期比3億9百万円増益の8億48百万円となりました。また、第2四半期累計期間の業績予想8億50百万円に対する進捗率は99.7%となりました。

経常利益 6億40百万円

経常利益は、業務純益が増益となったものの、不良債権処理額が増加したことに加えて、株式等関係損益が減少したことなどから、前年同四半期比5億55百万円減益の6億40百万円となりました。一方で、第2四半期累計期間の業績予想7億円に対する進捗率は91.4%となりました。

四半期純利益 3億50百万円

四半期純利益は、経常利益が減益となったことなどから、前年同四半期比4億19百万円減益の3億50百万円となりました。一方で、第2四半期累計期間の業績予想4億70百万円に対する進捗率は74.4%となりました。

【平成29年3月期の単体業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)】

平成29年3月期の単体業績予想につきましては、今後の金融経済情勢等により大きく変動する可能性はありますが、平成28年5月13日に公表いたしました業績予想に変更はありません。なお、単体業績予想は次のとおりであります。

	経常収益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
第2四半期 (累計)	6,360	百万円 △4.2%	700	百万円 △51.0%	470	百万円 △53.7%	7	円 60
通期	12,420	△5.8	1,350	△45.7	900	△49.5	14	55

(2) 金融再生法ベースのカテゴリによる開示

【単体】

(単位：百万円)

		平成28年6月末	平成27年6月末	平成28年3月末(実績)
	破産更生債権及び これらに準ずる債権	1,380	1,506	1,144
	危険債権	10,682	13,677	11,474
	要管理債権	1,205	1,229	1,222
金融再生法開示債権 (部分直接償却額)		13,267 (3,126)	16,413 (2,813)	13,841 (2,800)
正常債権		425,691	409,955	439,486
総債権合計		438,958	426,368	453,328
開示債権比率		3.02%	3.84%	3.05%

【連結】

(単位：百万円)

		平成28年6月末	平成27年6月末	平成28年3月末(実績)
	破産更生債権及び これらに準ずる債権	1,434	1,577	1,199
	危険債権	10,682	13,677	11,474
	要管理債権	1,205	1,229	1,222
金融再生法開示債権 (部分直接償却額)		13,322 (3,126)	16,484 (2,813)	13,897 (2,800)
正常債権		423,091	407,577	436,161
総債権合計		436,413	424,062	450,058
開示債権比率		3.05%	3.88%	3.08%

(注) 各四半期末の計数は、資産の自己査定結果に基づき、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則」第4条に規定する各債権のカテゴリにより分類しております。

(3) 時価のあるその他有価証券の評価差額(連結)

○評価差額

(単位：百万円)

	平成28年6月末		平成27年6月末	
	時価	評価差額	時価	評価差額
その他有価証券	245,537	9,211	257,027	9,902
株式	13,285	4,321	15,320	6,698
債券	180,345	3,342	192,532	1,646
外国証券	12,421	68	16,319	195
その他	39,483	1,477	32,854	1,362

(単位：百万円)

	平成28年3月末(実績)	
	時価	評価差額
その他有価証券	252,530	9,831
株式	14,421	5,125
債券	183,617	2,969
外国証券	12,838	85
その他	41,653	1,651

(4) 預金・貸出金の残高(単体)

(単位：百万円)

	28年6月末		27年6月末	28年3月末
		27年6月末比		
預金	669,949	10,050	24,157	659,899
うち個人預金	471,923	7,205	4,803	464,718
譲渡性預金	10,387	1,594	△3,653	8,793
預金等合計	680,337	11,645	20,505	668,692

(単位：百万円、%)

	28年6月末		27年6月末	28年3月末
		27年6月末比		
貸出金	430,300	12,476	△14,376	417,824
中小企業等貸出金残高	382,076	8,979	△9,731	373,097
中小企業等貸出金比率	88.79	△0.50	0.68	89.29

以 上

本件に関するお問い合わせ先
総合企画部 (0942)32-5353